

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	基本的生活習慣の指導	基本的習慣が身につくよう日頃から子どもたちに声かけをしてきた。意識を持ちメリハリをもって行動することができた。
		子どもの状況把握	日々見守りを行い、日誌・個別対応記録・会議等を通して職員同士で情報を共有した。また、準職員（クラス担当）とのミーティングも、機会をつくり行った。保護者とは保育懇談会、個人懇談、日頃の連絡や相談等を通して子どもの状況を共有した。小学校とは、子どもや家庭の様子について随時連絡、相談を行った。今後も連携を大切に、子どもと保護者への理解を深め、寄り添っていきたい。
		安全・衛生及び健康管理	毎月1回、また必要時に、設備や遊具等の安全確認、おやつ提供作業や保育環境の衛生確認点検を行った。改善すべき点はその都度対応した。健康管理については子どもの様子に常に目を配り病気やけがの時は記録用紙を活用し、子どもへの適切な処置と保護者への丁寧な報告を心がけた。
		整理整頓・挨拶などの指導	玩具や持ち物の片付けと整理について、子どもたちに適宜声かけをしたり置き場所を明示したりしてきれいに片づけられるように工夫した。また、毎週金曜日を「ロッカーそうじの日」とし、自分のロッカーの定期的な整理整頓を指導した。保護者懇談会等で持ち物に名前を書いてもらうようお願いしているが、まだ無記名の落し物も多い。親子共に意識をもってもらうように個別でも声をかけていきたい。また挨拶については、登下館時等に挨拶ができるように子どもたちに指導を行った。
	健康の管理・情緒の安定	手洗い・消毒の指導	登館後やおやつ前、外遊び後などには手洗い・消毒の声かけを徹底した。一方、保護者にもお便りや保育懇談会等で、子どもたちにハンカチを携帯するよう協力をお願いした。今後も感染症予防や健康保持のため指導をしていきたい。
		共有物の使い方・片付けの指導	使い方や片付け場所の掲示、日々の声かけを行い、子どもたちの意識を高めた。使い方が守られていなかったり、片付けに時間がかかることもあったが、写真や掲示で片づけ方や使い方を明示するなど工夫をした。
		外あそび（小学校のグラウンド）についての指導	1年生には、初めて外あそびをする前に使い方の説明をした。2年生以上は、ルールを守れている人がほとんどで、子ども同士で教え合う姿も見られた。守られていない時にはその都度、注意・指導をした。
	基本的生活習慣の確立	土曜日・長期休暇中の朝学習の実施	土曜日及び長期休業中は朝学習の時間を設定し、各自で用意した課題（宿題・ドリル・読書等）に取り組んだ。特に長期休暇中は、クラスごとに部屋を分けて、より学習しやすい環境にした。今後も環境の改善を重ねたい。
		土曜日・長期休暇中の「おなか休め」の実施	昼食後、各部屋に分かれてゆったりと過ごせるように工夫をした。各部屋では、パズルやぬりえなど遊べるものを限定したことで落ち着いていた。
		おやつを提供	学年別に分けて行った。子どもたちが楽しいおやつ時間となるように、内容や提供方法（メニュー表に手書きのイラストを描く等）を工夫した。食べ終わる頃に、好きなおやつ投票やおもしろ早口言葉などをして皆で楽しめる時間も作れた。食物アレルギーなど個別の対応が必要な子どもには家庭と確認しあって配慮した。できるだけ食べ残しを減らすために、おやつのおおきりの声かけを随時行った。
	社会生活技術の獲得	登館・下館についての指導	登館時の子どもの出席確認等については、学校や保護者と連携を取りながら進めていくことができた。下館は地域別のグループに分けることでまとまって帰ることができた。帰り道で起こるトラブルについては、グループ毎に子どもたちで話し合ったり、保護者と連携を取ったりしながら、すぐに対応することを心がけた。帰りの会で、帰り方についての指導を全体に行い、安全に帰る意識を高めた。保護者懇談会では、地域毎に保護者で集まり、グループ毎のルート等を確認した。今後も学校や保護者と密に連携をとりながら子どもたちの安全確保に努めていきたい。
		熱中症に対する管理と指導	夏季は、熱中症指数を参考に、外遊びの回数・時間・遊びの内容を制限した。外に出るときは子どもたちに着帽を義務付け、こまめに休憩と水分補給を行った。今後も意識して取り組んでいく必要がある。
子ども	生活体験の拡大	入会式	新入生の紹介、写真撮影、メッセージ付きおやつプレゼント渡し等でお祝いすることができた。お祝いにけん玉の発表も行った。新入生・保護者・職員の顔合わせもでき、これから学童生活で過ごすイメージを持つ等、保護者からの理解も得られた。
		防災学びタイム	紙芝居や2択クイズ、人形劇などを取り入れることで子どもたちが興味を持って取り組めた。避難訓練では、回数を重ねるごとに、地震を想定した放送を聞いてからすぐに部屋の中央に集まったり、机の下で頭を守ったりできるようになった。小学校の運動場に避難し、タイムを計るなどして、子どもたちの防災意識を高めることができた。また、毎回「おはしもて」の確認をした。
		誕生日会	皆で楽しく誕生日の子どもをお祝いすることができた。おやつが豪華になったり、お誕生日の子どもへの質問タイムができたりと、楽しい時間を共に過ごすことで、子どもたちのつながりを深めることができた。
		新入生歓迎会	新1年生の名前や好きなものの紹介をして、楽しみながら仲間とのかかわりを持ち、新1年生のことを知るすることができた。
		みんなであそぼう！チャレンジデイ	「みんなあそび」を通して子どもたちの交流の輪を広げ、学童クラブとしての仲間意識を高めることができた。クラスごとに行うことで縦割りでの交流のきっかけになった。初めての遊びに参加しにくい、また、あそびの内容が把握しにくい子どもたちも楽しめるよう、1年生だけでシュミレーションを行うこともあった。一度経験することで、集団遊びの楽しさやルールがわかり、次にクラスごとで行う時もスムーズに進出し、盛り上がった。次年度も継続していきたい。
		エコタイム	エコについて考えるきっかけとなり、おやつのごみ分別も普段から意識を持って行えるようになった。
お弁当いらないデイ	皆で同じお弁当を食べることをとても喜んでた。長期休暇中に実施することで、保護者からは「お弁当作りの負担が軽減して助かる」との声が多数あった。		

育成機能	社会性の養成	キッズマーケット	お金券を使ってお買い物ごっこを楽しんだ。保護者の方にもお店屋さんの協力してもらった。1年生が初めて経験する前に一度、3年生にシュミレーションを手伝ってもらい、1年生だけでキッズマーケット（もどき）を行った。お店の中のコーナーも3年生が担当してくれた。本番はスムーズにでき楽しめた。	
		さくらんぼサークル	退職校長会の「さくらんぼサークル」に来ていただいて、ペープサート、歌などを鑑賞した。一緒に歌って楽しんでいった。	
		手助けさん	学童クラブの保護者に、保育中の子どもたちと遊び、普段の様子を見てもらう取り組み。お帰りの会の一言発表では、保護者も子どもも「楽しかった」という意見が多く、振り返りアンケートからも児童館や職員に対する理解が深まったと感じられた。	
		そんぼの家との交流	利用者の方々の消毒や配膳の手伝いが主な内容で、スタッフの方や利用者の方に対してしっかりした受け答えやお手伝いできた。高齢の方に対して思いやりの気持ちを持ち意識を持って参加できた。施設からは、入居している方が嬉しそうにしていたと好評だった。	
		児童館まつりの取り組み	ステージ発表に向けてけん玉の練習をした。友達同士で刺激しあって頑張る姿が見られた。今後も、子どもの得意分野に合わせて輝ける場を作っていきたい。	
		児童館まつりオープニング	オープニングでけん玉・もしかめの発表をした。学童クラブ児童の頑張りを保護者や地域の方に見てもらうことができ良かった。1年生もたくさん参加し、楽しいパフォーマンスが好評だった。	
		自立の促進と自主性の尊重	3年生企画	3年生の退会・休会が多く、みんなで集まって何か企画をしようとする方向に持っていけなかったが、ミニキッズマーケットに向けて取り組んだ。
			ミニキッズマーケット	3月のミニキッズマーケットでは、おやつ選びから看板描き、お店の当番と最後までやりきることができた。
おたのしみパーティー	1年間の締めくくりとして、クラスごとにみんな遊びを行い、豪華なおやつを食べ、進級・終了をお祝いした。			
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供と交換	保護者懇談会	年4回行った。初回は館行事の手伝いを決めるため、出席率が高いが、回数を増すごとに出席者が減る傾向にあるのが課題。スライド上映では、学童クラブだより「からっこ」では伝えきれないことも直接、写真を見て保護者に伝えられたので好評だった。4月の懇談会では、地域別集団下館班ごとに話し合いを行い、子どもの登下館ルートなどについての確認した。また、毎回の懇談会時にクラスや学年ごとに自己紹介や意見交換を行い、子どもたちの様子や保護者からの悩みなども聞くことができた。それにより、保護者同士の繋がりも深められて良かった。	
		小学校との連携	定期的に小学校とのおたより交換を行った。また、保護者・子どもへの対応について、連携をとりながら進めることができ、日頃から連絡し合える関係性をもつことができた。	
	子育ての仲間づくり	「うえぶさくら」の活用	うえぶさくらを使って保護者からの連絡を受けたり、適宜必要なメッセージを発信した。またお便りの発信を行った。	
		学童クラブだより「からっこ」の発行（うえぶさくら）	毎月の行事や取り組みについての案内や、子どもたちの様子を伝えていくことができた。また、クラス別（つき組・ほし組・そら組）に発行したことで、クラス別の取り組みを意識づけることができたので良かった。夏休み終了後には、毎月の発行分とは別に、夏休み期間の子どもの様子についてを伝えるために写真を多く使った「夏休み特別号」も発行した。今後もタイミングを見て発行できるようにしたい。	
	子育てを支えるネットワーク形成	個人懇談	新入会の保護者を対象に、学童クラブ・家庭・学校での子どもの様子について個人懇談をおこなった。学童クラブでの様子については、事前に職員間で幅広く情報を集め、保護者に伝えた。保護者と直接話し合う大切な機会であり、保護者と学童クラブの相互理解をさらに深めることができた。また懇談後はその内容を職員全員で共有することで、子どもに対する理解を深め、保育に活かすことができた。定期的に行っている個人懇談以外にも、保護者との連携が必要な児童に対して、個別に時間を設定して懇談を行った。保護者にとっては、職員とじっくりと話せる機会となり、懇談内容は職員同士でも情報を共有し、日々の保育に活かせるので良かった。	
		入会説明会	資料の説明だけでなく、スライド上映で学童クラブの様子を見てもらうことで、より分かりやすく保護者に伝えることができた。うえぶさくらの使い方もスライドで説明して理解してもらえた。	
		利用者アンケート	学童クラブ登録児童とその保護者から行事や取組、日常生活についての意見や要望を知る機会となった。事業内容の見直しや改善の参考とした。	

令和7(2025)年度学童クラブ事業年間活動報告書

唐橋児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合計	内容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1~3年	4~6年	中学生	大学生	大人			
生活援助機能															
基本的な生活習慣の指導	12														生活習慣が身につくように日頃から子どもたちを指導した。
子どもの状況把握	12														子どもたちの出欠確認・健康状態などを職員で確認した。必要時には保護者・小学校にも問い合わせし、子どもたちの状況把握を行った。
安全・衛生及び健康管理	12														定期的に設備や遊具の安全点検、衛生管理点検を行った。また子どもたちの様子に目を配り、安全・衛生および健康管理に努めた。
整理整頓・挨拶などの指導	12														各自の持ちものやロッカーなど整理整頓を心掛けるよう指導した。また、日頃の言葉遣い、挨拶についても随時指導した。
手洗い・消毒の指導	12														習慣づけの為、感染症予防もかねて登館時、おやつ前、外遊び後などに「手洗い・消毒」の声掛けを行った。
共有物の使い方・片付けの指導	12														共有物や遊具・備品を大切に使うように随時、指導を行った。また子どもたちが片付け・整理整頓がしやすいよう、写真や掲示で片付け方を明示するなど工夫した。
外あそび(小学校のグラウンド)についての指導	12														放課後の自由遊び時には唐橋小学校のグラウンドを借りて外遊びを実施した。使用時のマナーやルールについて子どもたちへの指導を行った。
土曜日・長期休暇中の朝学習の実施	12														土曜日及び長期休暇中は、朝学習の時間を設定し、各自で勉強・読書を行った。
土曜日・長期休暇中の「おなか休め」の実施	12														土曜日及び長期休暇中の昼食後の休憩時間に各部屋に分かれて落ち着いて過ごす時間を設定した。
おやつ提供	12														おやつを食べるスペース確保の為学年ごとに設定した。黙食を基本としながらも楽しい時間になるよう内容の工夫を行った。
登館・下館についての指導	12														お帰りの会等で随時、交通ルール・登下館のルールについて子どもたちに指導を行った。必要時には保護者と連携し、安全指導の強化を行った。
熱中症に対する管理と指導	4														夏季期間中は、熱中症を予防するため、子どもたちに休息をとることと水分補給をこまめに行う事を指導したり、おやつ時に塩分補給タブレットの提供を行った。
子ども育成機能															
入会式	1	34	6	9	2	3							44	98	新入生の紹介、写真撮影、メッセージ付きおやつプレゼント渡し等でお祝いすることができた。新入生・保護者・職員の顔合わせもでき、これから学童生活で過ごすイメージを持つ等、保護者からの理解も得られた。
防災まなびタイム	13	430	326	121	20	17	3							917	防災について学ぶ取り組み。毎月の避難訓練を基本に、4月：新入生対象、館内避難経路などの確認・6月：警察の方から安全防犯の話・8月：水害についてなど、強化して取り入れた。
誕生日会	12	407	358	157	55	30	8							1015	毎月、その月生まれの子どもの誕生会を開催。お帰りの会で、お誕生日カードの贈呈、子どもインタビュー等を行う。またおやつは、日頃より少し特別な内容のものを提供する。
新入生歓迎会	2	66	72	33	10	11	2							194	クラス別開催。新入生を迎え入れ、皆が学童クラブの仲間であることを意識し、交流の輪を広げるため、帰りの会の時間に新入生の紹介を行う。
みんなであそぼう！チャレンジデー	10	329	299	128	26	20	5						11	818	子どもたちの交流の輪を広げるため「みんな遊び」を設定した。「ケイドロ」、「どんジャンケン」など。また1年生を対象とした「3億円ゲーム」などをして集団で遊ぶことの意識付けをした。見通しをつけるため、前もって1年生だけでシミュレーションを行いみんなが楽しめる工夫を行った。
エコタイム	6	205	172	75	15	13	1							481	エコについて考えるきっかけとして、おやつ時にエコ紙芝居の観賞やおやつゴミの分別等に取り組む。年6回(毎奇数月)
お弁当いらないデー	2	69	66	38	13	9	2							197	長期休暇中(夏休み)に2回行った。みんなで同じお弁当を食べることをとても喜んでいました。
キッズマーケット	3	98	59	32	8	6	1						28	232	お金券を使ってお買い物ごっこを楽しんだ。保護者の方にもお店屋さんの協力をしてもらった。1年生が初めて経験する前に、3年生にシミュレーションを手伝ってもらった。お店の担当も3年生がしてくれた。
さくらんぼサークル	1	31	24	15	5	4	1	1	1				20	102	退職校長会の「さくらんぼサークル」に来ていただいて、ペープサート、歌などを鑑賞した。一緒に歌って楽しんでいました。

手助けさん	3	103	100	36	2	3						11	255	新入生の入会を祝う。新入生の紹介、写真撮影、メッセージつきのおやつをプレゼントを行う。
そんぼの家との交流	3			9									9	3年生対象に行う。そんぼの家東寺さんに3～4人の3年生と職員で行かせてもらい、昼食の配膳の手伝いなどをする。入居している高齢者の方が嬉しそうにしていたと好評だった。
児童館まつりの取り組み	14	150	128	35	1	3							317	ステージ発表の練習。子どもたちも保護者に見てもらえる場を設定したことで意欲的に練習に参加している様子だった。
児童館まつりオープニング	1	12	11	6									29	ステージでけん玉の発表。日頃の成果を見てもらえて子どもも保護者も満足いく結果となった。
3年生企画	13			94									94	3年生主体でミニキッズマーケットの企画、準備、進行を行った。
ミニキッズマーケット	1	28	25	11		1							65	3年生がミニキッズマーケットを開催した。自分たちが楽しむだけでなく全体のことも考えながら、がんばって取り組んだ。
おたのしみパーティー	1	33	30	12	2	1							78	クラスごとにおやつを食べ、みんな遊びを行った。進級・終了をみんなでお祝した。つき：「子犬のビンゴ」ほし：「ドッカ」そら：「3億円ゲーム」
子育て支援機能														
保護者懇談会	4	18	18	2								203	241	保護者懇談会は、各クラス年4回の開催予定で行った。スライド上映では、学童クラブだより「からっこ」では伝えきれないことも直接、写真を見て保護者に伝えられたので、好評であった。毎回グループに分かれ意見交換をする場を設けて、保護者同士が交流する機会を作った。
小学校との連携	12													定期的な小学校とのおたより交換を行った。また保護者や子どもへの対応について随時連携を取りながら進めることができた。日常においても、学校の遊具使用のルールや、下校時間などについては、随時連絡をとり、気軽に相談できる関係性を持つことが出来た。
「うえぶさくら」の活用	12													うえぶさくらを使って保護者からの連絡を受けたり、適宜必要なメッセージを発信した。またお便りの発信を行った。
学童クラブだより「からっこ」の発行（うえぶさくら）	12													「うえぶさくら」を活用しておたよりの配布を行った。毎月の行事や取り組みについての案内や、子どもたちの様子を伝えていくことができた。また、クラス別（つき組・ほし組・そら組）に発行したことでクラス別の取り組みを意識づけることができたのでよかった。夏休み終了後には、毎月の発行分とは別に、夏休み期間の子どもの様子についてを伝えるために写真を多く使った「夏休み特別号」を発行した。
個人懇談	23											44	44	新入生を中心に、学童クラブ・家庭・学校での子どもの様子について個人懇談を行った。学童クラブでの様子については、事前に職員間で幅広く情報を集め、保護者に伝えた。直接、保護者と話し合う機会であり、保護者と学童クラブの相互理解をさらに深めることができた。また懇談後はその内容を職員全員で共有することで、子どもに対する理解を深め、保育に活かすことができた。定期的に行っている個人懇談以外にも、保護者との連携が必要な児童に対して、個別に時間を設定して懇談を行った。
入会説明会	1											44	44	学童クラブに新規登録する保護者を対象に朝と夜の部の2回に分けて行った。「入会のしおりについて」と「うえぶさくら」の説明を行った。また、スライド上映で学童クラブの様子を見てもらうことで、より分かりやすく保護者に伝えることができた。
利用者アンケート	6	36	32	21	1	2	1						93	学童クラブ登録児童とその保護者から行事や取り組み、日常生活についての意見や要望を知る機会となった。事業内容の見直しや改善の参考とした。

*注1 行事名は、（1）生活援助機能 （2）子ども育成機能 （3）子育て支援機能に分類して記入すること
*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること